

【福祉の職を目指したきっかけは？】

高校生の頃に、障害や貧困などの福祉に関する問題に興味を持ち、大学で福祉の勉強をしました。大学の実習では高齢者施設に行き、高齢者の方にこれまでの人生のお話を伺いました。過去のお話を聞き、これからの生活を一緒に考えていくことを更に経験したいと思ったからです。



【今、一番頑張っている事は？】

排泄支援や食事介助など、すべての介護が初めて経験することで、周りの職員さんのように上手な介護に早く近づきたいという思いで仕事をしています。介護技術の向上の為の努力を一番していると思いますが、利用者の方とのコミュニケーションや想いをくみ取れるように、更に関わりを持っていくことも同じように頑張っていきたいです。



地域にねぎして
50th
HINO KAMI
since 1973

【簸の上園のいいところは？】

全ての職員の方にサポートしていただいています。皆さん話しかけやすく、職場の雰囲気もとても良いと感じています。そのため、自然と利用者の方々の笑顔も増えているのではないかと感じています。情報共有や連携の面も意識して行われており、そこから助けてもらい、学ばせていただくことも多くあります。

コロナ禍ということもあり、実際に経験したことは少ないですが、地域と深く密着した活動を施設では行っており、地域に対してとても開放的なことも良い所だと感じています。



僕が指導担当者をしています。

指導者の立場で一緒に成長しています！！